

# 教育委員会会議録

平成27年9月3日(水) 午後1時30分 開会

午後2時42分 閉会

## 1 議事日程

別紙のとおり

## 2 出席した委員

岩月慎自委員長、笠松和永委員、佐藤元英委員、松本真理子委員、則竹伸也委員  
野村道朗教育長

## 3 説明のため出席した職員

岡田信教育次長、溝口正己管理部長、竹下裕隆学習教育部長  
後藤由紀夫生涯学習監、磯谷和明総合教育センター所長、八木亨総務課長  
森繁雄財務施設課長、與語勝廣教職員課長、山崎眞澄福利課長  
山本雅夫生涯学習課長、荻原哲哉高等学校教育課長、高田和明義務教育課長  
吉田伸一特別支援教育課長、鈴木裕健康学習課長、霊池恵量保健体育スポーツ課長  
橋本礼子教育企画室長、富田正美文化財保護室長、稲垣直樹総務課主幹  
黒沢正行総務課主幹、安藤昌弘教職員課主幹、小島寿文高等学校教育課主幹  
北島淳特別支援教育課主幹、坂川智総務課課長補佐

## 4 前回会議録の承認

岩月委員長が各委員に諮り、前回の会議録は承認された。

## 5 委員長報告

なし

## 6 教育長報告

### (1) 平成28年度使用県立高等学校教科用図書採択結果について

荻原高等学校教育課長が、平成28年度使用県立高等学校教科用図書の採択結果について報告。

岩月委員長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

〔委員の主な意見及び事務局の説明〕

(岩月委員長)

生徒の特性に合わせて多様な教科書を使用していると思うが、学年によって違う教科書を使用する事例はあるか。

(荻原高等学校教育課長)

高等学校の場合は、1年ごとに次年度使用する教科書を選定する。生徒の実情に合わない等あれば、研究を行い、教科会で話し合いの上別の教科書を

選定するため、学年によって異なる教科書を使用することはある。選定予定の教科書を使用している学校の情報を教科書研究会から得るなど慎重に検討している。

(岩月委員長)

複数の学年を指導している教員にとっては、教材研究や授業準備が大変になるのではないか。

(荻原高等学校教育課長)

複数の学年を指導することはよくある。学年で教科書が違う場合、とりわけ初めての教科書については教材研究に時間がかかるが、対応している。

(2) 平成28年度使用義務教育諸学校教科用図書の採択結果について

高田義務教育課長が、平成28年度使用義務教育諸学校教科用図書の採択結果について報告。

岩月委員長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

[委員の主な意見及び事務局の説明]

(松本委員)

採択替えの経過について県教育委員会で把握していることがあるか。

(高田義務教育課長)

現段階においては、採択した教科書発行者名のみでの報告である。採択地区において、児童生徒の現状を踏まえ、教科書の調査研究により採択されていると理解している。採択替えの理由については、県教育委員会では把握していない。

(岩月委員長)

採択替えがあった地区・教科について、前回の採択時と比較ができるのか。

(高田義務教育課長)

前回との比較はできていない。社会科について採択替えが行われたのは新たな変化である。

(3) 平成28年度使用県立特別支援学校教科用図書の採択結果について

吉田特別支援教育課長が、平成28年度使用県立特別支援学校教科用図書の採択結果について報告。

岩月委員長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

[委員の主な意見及び事務局の説明]

(岩月委員長)

採択までの経過において問題等があったか。

(吉田特別支援教育課長)

問題となる事項はない。

(4) 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について

高田義務教育課長が、平成27年度全国学力・学習状況調査における愛知県の結果について報告。

岩月委員長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

〔委員の主な意見及び事務局の説明〕

（佐藤委員）

今年度市町村教育委員会への結果等の発信はどのような形を考えているか。

（高田義務教育課長）

現在、分析ワーキンググループにおいて愛知県独自の表計算ソフトを活用した「分析プログラム」の今年度版の作成とともに県で掌握しているデータの分析作業を進めている。「分析プログラム」については9月中の配布を考えており、結果分析については、児童・生徒質問紙と教科に関する調査結果をクロス集計し、課題をより明確に把握していく作業を進めているところである。10月中旬頃開催予定の有識者や学識経験者に意見をいただく学力向上推進委員会においてさらに分析し、授業アドバイスシートや授業改善についての方針を素早く出していきたい。とりわけ、小学校については課題が多いと考えるので、学校に取り組んでいただけるアイデアを11月中には学校に提供したい。

（佐藤委員）

各市町村別の結果において顕著な評価があれば、県教育事務所と協力して指導のバックアップをしていただきたい。

（松本委員）

児童・生徒質問紙の中の自尊感情や学習意欲の項目と学力には相関があると思うが、順位はなかなか上がっていない。また、教師との関係の項目についても低かった。教育環境が子どもたちにとってどのようなものであるか、実態を把握できるようクロス集計を行っていただきたい。

今回中学校の結果は、全て順位が上がっている。その理由はどう考えるか。

（高田義務教育課長）

児童・生徒質問紙、学校質問紙と教科の調査結果とのクロス集計については、ご意見いただいた点も含めてしっかり確認していく。児童生徒の授業に対する意識と教員が進めている授業に対する意識には若干のずれがあることも課題と考えているので詳細に分析していきたい。

中学校の順位が上がっていることについて、明確なところはつかみきれていない。昨年度学力充実プランを迅速に配布したり、課題研究会を数回開催したりしたが、中学校は教科担任制であることが授業改善の取組が進みやすかったということも要因の1つであるかと思う。

（松本委員）

報告を見ると、課題は多くあるが、フィードバックが比較的少ない印象がある。個別のフィードバックの分析をしていただけたらと思う。

（岩月委員長）

数字に一喜一憂することなくきちんと授業を進めていくことが大切であるので、今後も推し進めていただきたい。

現行の学習指導要領や従前の学習指導要領において「言葉を大事にする」、「表現する」、「自分の考えをまとめる、発表する」といったことが授業の

中で重視されており定着しているもので、今回の結果を教員自身が受け止め、授業改善へ向けて振り返りを行うよう、学校現場への発信をして欲しい。

小学校国語Aの結果については、県教育委員会として重く受け止めているとコメントをいただいた。授業に情報機器を取り入れることによって、文章・漢字を書く機会が減ってしまっているのではないかと考える。中学生は幼い頃に身に付けた知識があり、うまく情報機器を活用できるため良い結果であったと言えるのかもしれない。今回の調査結果で裏付けができるのであれば授業内の情報機器の導入方法についても考えていかなければならない。

小学校では基礎を身に付けさせることが大切であり、細かい分析ができれば教員にとっては参考になると思うので、検討を十分に進めていただきたい。

(5) 損害賠償請求事件について

與語教職員課長が、損害賠償請求事件の判決言渡について報告。

岩月委員長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

7 議題及び議事の概要

第26号議案 愛知県教育委員会に係る行政手続等における情報通信の技術の利用に関する規則及び愛知県教育委員会の保有する個人情報の保護等に関する規則の一部改正について

八木総務課長が、愛知県個人情報保護条例の一部改正に伴い、所要の改正を行う必要があるため請議。

岩月委員長が各委員に諮り、全会一致により原案どおり可決された。

第27号議案 教育に関する事務の点検・評価報告書について

橋本教育企画室長が、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に規定する、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書を県議会に提出し公表する必要があるため請議。

岩月委員長が各委員に諮り、全会一致により原案どおり可決された。

〔委員の主な意見及び事務局の説明〕

(松本委員)

外部有識者の意見はどのような形で今後活かしていくのか。

(橋本教育企画室長)

原案に対してすぐに対応できるものについては内容を反映している。手法・評価の仕方等の大きな課題については、現在策定している第三次愛知県教育振興基本計画の内容に盛り込んでいくよう精査していきたい。

(岩月委員長)

外部有識者の指摘には納得できるところがある。次の計画についてはどのような効果指標を立てるか等も念頭において検討を進めていただきたい。分析の仕方についても、数値だけでなく内容的な評価も入れる等、外部有識者の意見を活かして策定していただきたい。

第28号議案 平成28年度教職員定期人事異動方針について

與語教職員課長が、平成28年度公立学校教職員定期人事異動を行うにあつ

て、その基本方針を定めるため請議。

岩月委員長が各委員に諮り、全会一致により原案どおり可決された。

8 通信及び請願

な し

9 自由討議

な し

10 その他

傍聴人 1名